

団体における課題や他団体・自治会等の団体との関係に関する アンケート集計結果

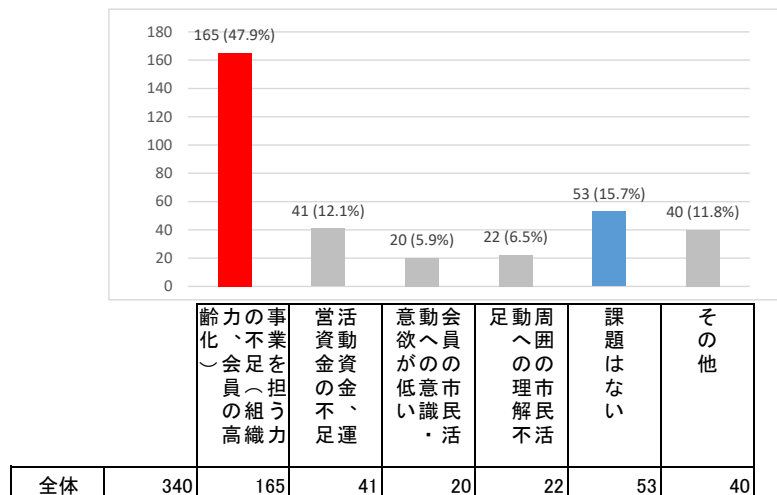
調査対象 藤枝市市民活動団体ファイル登録団体

実施期間 2022年10月上旬から2カ月程度

送付件数 444

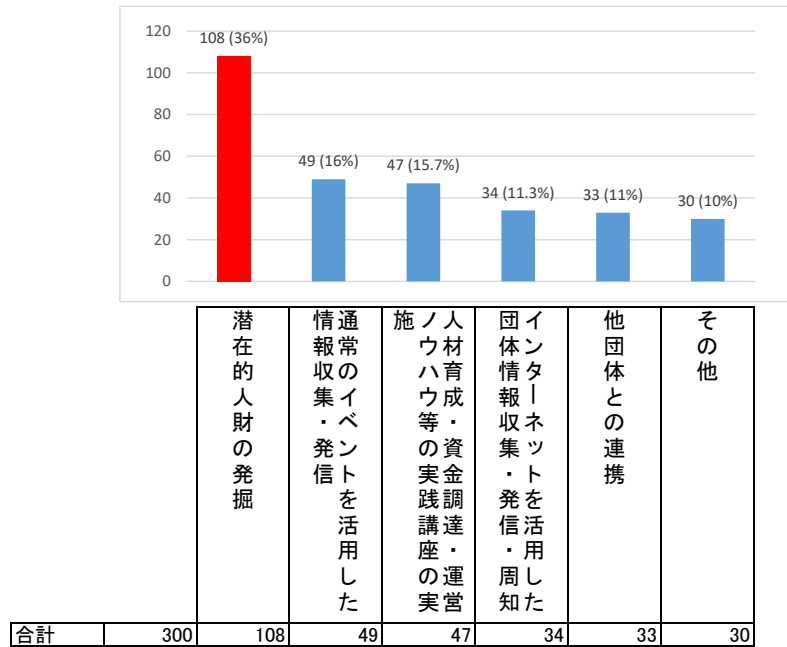
回答件数 308

問1 団体が抱えている課題について、最も該当する項目に☑をおつけください。(複数回答可)



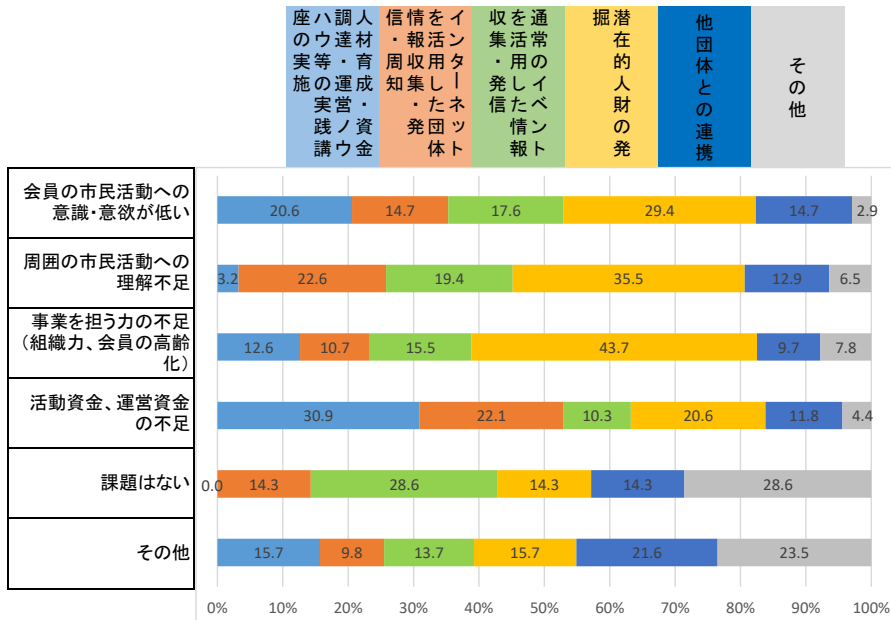
・団体の約半数が組織力不足や会員の高齢化による事業を担う力不足を課題と考えている。2番目に多かったのは、課題はないと考えている団体で15.7%であった。

問2 上記の課題解決のため特に何が必要だと思いますか。
最も該当する項目に☑をおつけください。(複数回答可)



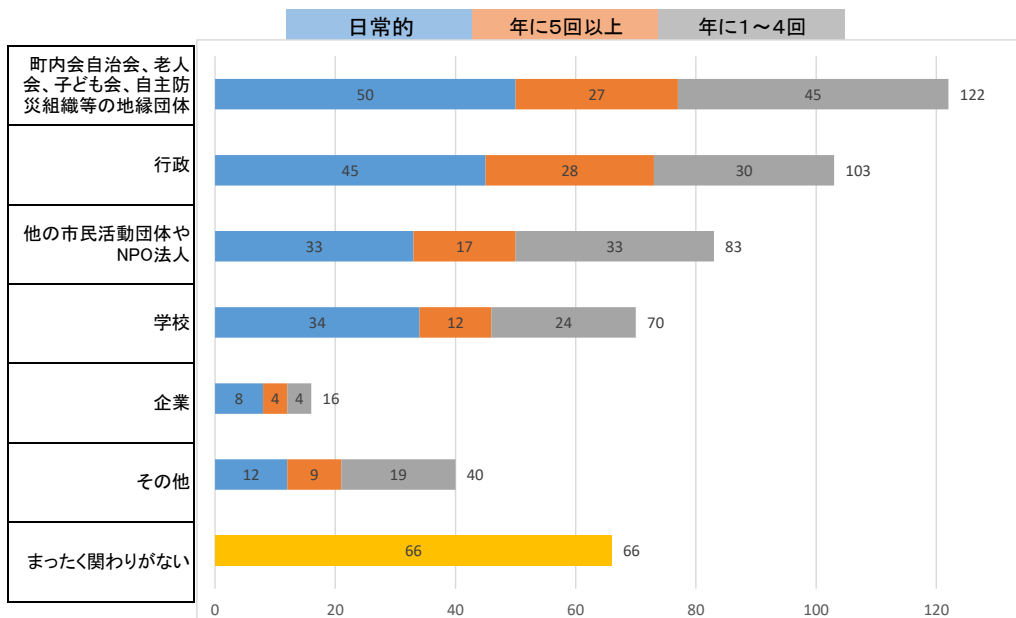
・36%の団体はその課題解決のため潜在的な人財の発掘の必要性を感じている。
他の課題については、人財不足に起因する要因とも考えられる。

問1と問2より、課題別にみる課題解決に必要なもの



- ・課題別にみる課題解決に必要なものをみると、「会員の市民活動への意識・意欲が低い」、「周囲の市民活動への理解不足」、「事業を担う力の不足(組織力、会員の高齢化)」と回答した団体では、「潜在的な人財の発掘」が最も割合が多かったことから、高齢化以外にも人財不足も大きな課題となっていることが表れている。

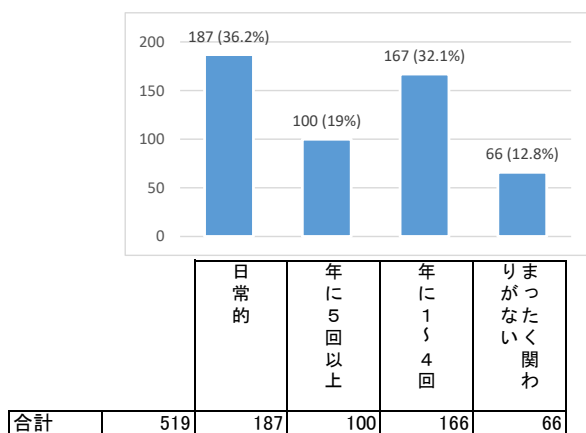
問3 他団体との関わりについて、該当する項目に☑をつけ、関わりがある場合は、連携団体にも☑してください。(複数回答可)



	日常的	年に5回以上	年に1~4回	まったく関わりがない
町内会自治会、老人会、子ども会、自主防災組織等の地縁団体	50	27	45	
行政	45	28	30	
他の市民活動団体やNPO法人	33	17	33	
学校	34	12	24	
企業	8	4	4	
その他	12	9	19	
まったく関わりがない				66

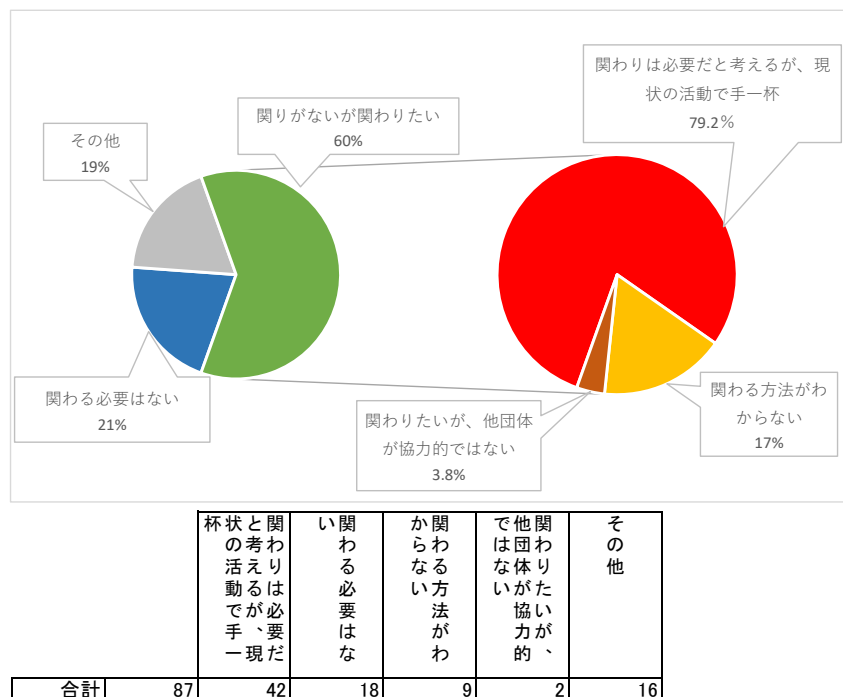
- ・他団体との関わりについて、町内会・自治会などの地域の団体と関わりを持つ団体が最も多かった。
- また、回答のあった団体のうち87.3%が、年に1回以上は他団体と関わりを持っているのに対し、12.8%の団体はまったく関わりを持っていなかった。

問3より、他団体と関わる頻度



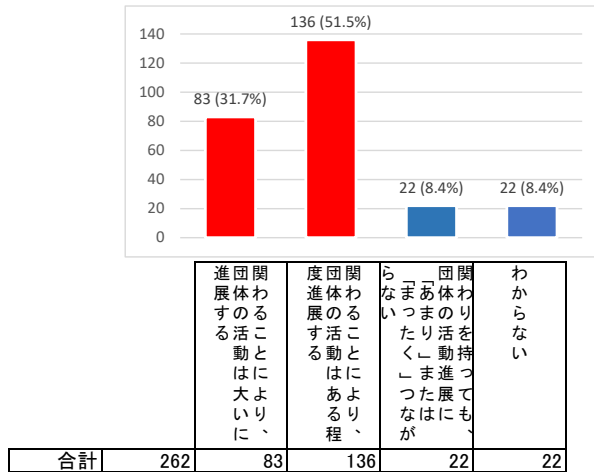
	日常的	年に5回以上	年に1~4回	りまがたなく関わ	
合計	519	187	100	166	66

問4 他団体との関わりがない理由はなんですか。該当する項目に一つだけ☑をおつけください。



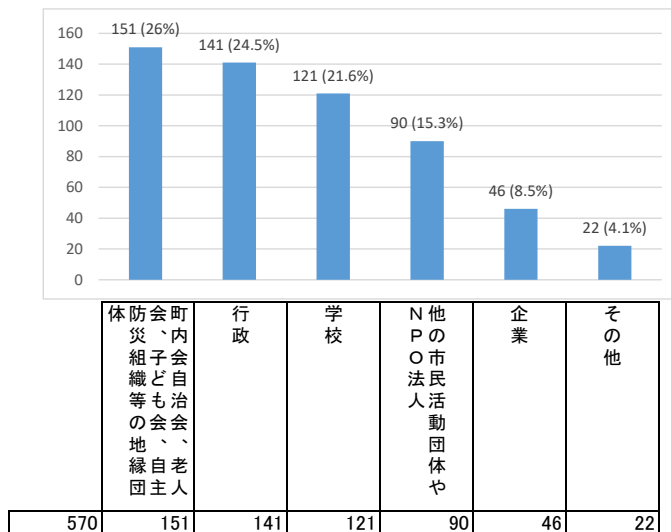
- ・他団体との関わりがない団体のうち、21%は関わりをもつ必要性を感じていないのに対し、60%の団体が関わりは必要である、または関りたいと考えている。
- ・また、関わりを持ちたいが持てない理由の約80%が、現状の活動で手一杯であることだった。
- ・団体の高齢化、人財不足、人手不足の影響と考えられる。

問5 他団体との関わりについて、該当する項目に一つだけ☑をおつけください。



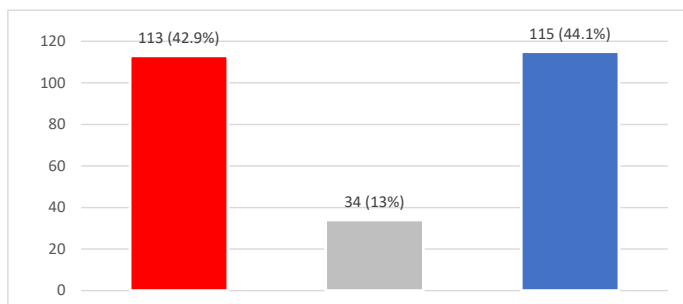
・他団体との関わりを持つことで、団体の活動は大いに進展する・進展すると考えている団体は83.2%と高い割合だった。

問6 どのような団体との関わりが重要だと考えられますか。該当する項目すべてに☑をおつけください。(複数回答可)



・関わりが重要と考える団体として、町内会自治会、老人会、子ども会、自主防災組織等の地縁団体が26%と最も多く、次いで行政が24.5%であった。

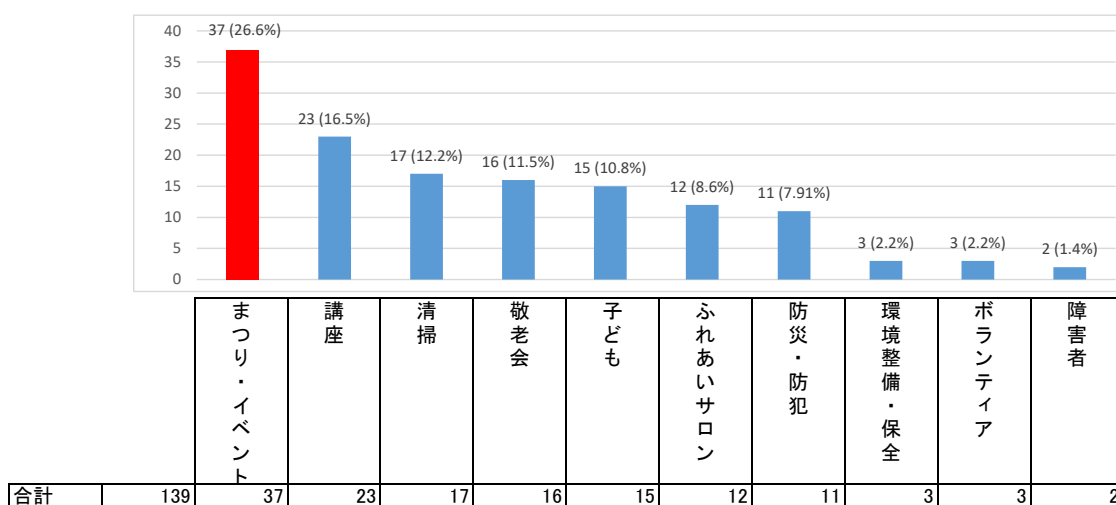
問7 町内会自治会の課題の一例として役員の高齢化や人出不足があげられています。
 (ごみ回収(当番等)、河川(堤防)の草刈り、公園等施設の管理、申請書類作成の負担等)
 市民活動団体が関わることで改善の可能性があると考えますか。
 該当する項目に一つだけ☑をおつけください。



	可能性 はある	可能性 はない	わから ない	
合計	261	113	34	115

・町内会・自治会の課題について、市民活動団体が関わることによる改善の可能性については、可能性があるが43%、分からないが44%とほぼ同数だった。

問8 貴団体が町内会自治会の活動で参加できると思うことがあればご記入ください。



・町内会自治会の活動で参加できると思うこととして、まつりなどのイベントが26.6%と最も多く、次いで団体の特色を生かした講座が16.5%だった。
アンケートの回答件数308に対して、問8の回答数は139と半数以上が未回答だった。

市民活動団体に関するご意見(抜粋)

- ・独居者・高齢者に関わる「あんすこ」「ケアマネ」等からも地域の活動に参加する事をすすめて頂きたい。
- ・中学校の部活の未来にもお手伝いできればとも思っています
- ・本団体の会員募集について各地区公民館がもう少し正規(制)なく自由にできたらと思います。
- ・地域活動は、シニア世代が中心だが、若い世代も気軽に関わられるような仕組みづくりが必要。
- ・年金の支給年令が上がった為、老人会・グラウンドゴルフ等高齢者中心の活動は年々衰退している。
- ・市内各種情報誌に情報掲載や町内会や回覧板に公演情報をつけていただきたい。
- ・藤枝は市民活動を活性化すると云っても活動の場所が得られない。
- ・山に入ってみるとプラスチックの廃棄物がたくさんある。いっせい清掃など考えたい。
- ・異世代交流の場が多くあれば、地域の問題点も見え又課題を共有する意識が問題解決の糸口になる。
- ・これ以外の仕事で手いっぱい。
- ・会員やボランティアの高齢化。会員ボランティアが集まらない。課題が多い。
- ・最近では団体行動をあまり好まない人が増加し、会員数も減少傾向にあり悩みの種であります。
- ・子育て世代や学生は自分の生活で手一杯。みんなでいろんな活動ができるようにしていきたい。
- ・趣旨に賛同する人は多数いるものの活動へ参加する人が少ない。
- ・当会も高齢化に伴う会員減少や人手不足なので関わる余地が無い。
- ・当会は会員の高齢化と会員数減少が大きな課題である。40代50代の不参加
- ・コロナ禍に福祉施設への訪問が出来ず残念です。
- ・傾聴活動は守秘義務を伴う活動です。機会があれば存在を知って戴く事は大切な事だと思います。
- ・活動を企画・運営していくメンバーが不足してきました。活動を縮小して行きたいと考えています。
- ・事業活動が増大するほど役員負担が増える。一部役員の献身的な活動により支えられている面がある。
- ・ろう者も参加したいがコミュニケーションに壁がある。
- ・毎週決った日時に借室できれば、社交ダンス以外の学習に参加でき、高齢者の老化防止につながる。
- ・安全安心まちづくり推進協議会に参画してもらい、研修会など実施できればいいのではないかな。
- ・講師謝金や食事会の補助等活動資金が潤沢であれば、より活発な事業展開が期待できる。
- ・補助金制度の期間制限をなくして、良い企画を継続できるようにしていただけると助かります。
- ・ボランティア保険料は自己負担となっています。ボランティア保険料の助成をお願いします。
- ・行政の関わり、資金支援が乏しい。振興面で文化協会の企画力、独創力、実行力を期待。
- ・賛助会員として応援してくれる方が減少している。
- ・地域で生涯スポーツとして、企業のクリエイション・スポーツとしての紹介依頼があれば受ける。
- ・行政との関わりに多くの時間を要している。縄張り意識が見られ、問題解決には時間と労力が掛かる。
- ・地域に活動を降ろすのではなく地域活動(町内会、自治会)に対して行政が厚くかかわってほしい。
- ・行政や自治会のイベントが平日に行われている。若い人が動ける土日にイベントを行うべき。
- ・市の各担当部門は市民活動団体の活動を市事業に利用(活用)して欲しい。…藤枝ボランティアの活用